

北方四島における風力発電実現可能性調査事業

平成30年度予算額 **0.8億円（新規）**

事業の内容

事業目的・概要

- 本事業は、北方四島における共同経済活動に関し、日露首脳会談において、早期に取り組むプロジェクト候補の1つとして合意されました。
- 北方四島においては、独立系統地域であるため、ディーゼル発電による電力供給が行われていますが、遠隔地のため燃料の輸送コストが高み、発電コストが割高な状況となっています。
- そこで、同地域の電力需要に対して適切な規模の風力発電機（300kWクラス）を導入し、既存のディーゼル発電機とハイブリッド化することにより、安定した電力供給とディーゼル燃料の炊き減らしによる発電コストの低減を図ります。
- 平成30年度は、風力発電設備の設置可能性を評価するため、設置候補地周辺における風況観測、電力設備・電力需給状況調査等を実施し、システム構成等の検討を行い、当該設備を導入した場合の発電コストの低減等の事業性を検討し、実現可能性を調査します。

成果目標

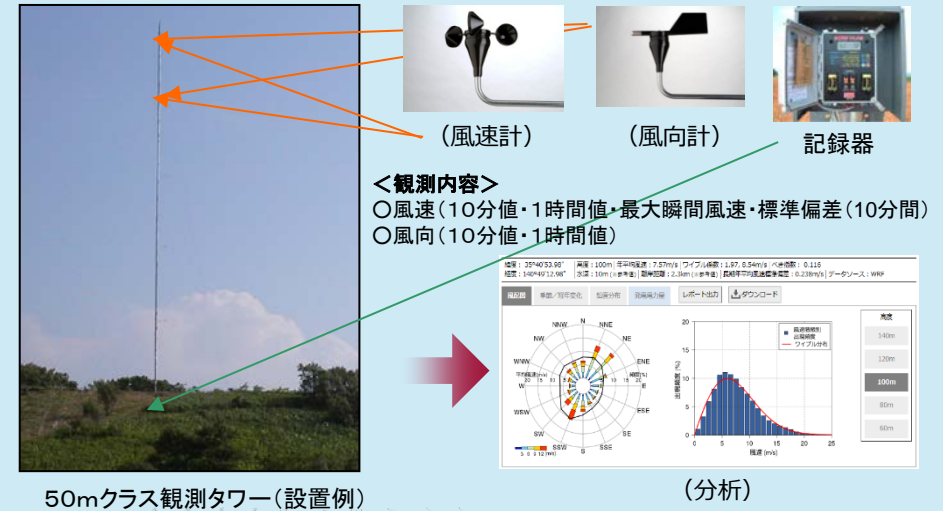
- 本事業を通じて、北方四島における風力発電導入の実現可能性を、平成31年までに確認することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

風況観測の例



システム構成の検討例

